

「ギヤグランドDX シリーズ」「KALEIDO SCREEN®」が「2016年“超”モノづくり部品大賞」部品賞を受賞

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、「2016年“超”モノづくり部品大賞」(主催:モノづくり日本会議^{※1}、日刊工業新聞社)において、省燃費自動車用ギヤ油「ギヤグランドDXシリーズ」が環境関連部品賞、スクリーン用透明フィルム「KALEIDO SCREEN®」が生活関連部品賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

2004年から始まり今年で13回目を迎える「“超”モノづくり部品大賞」は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、産業・社会の発展に貢献する「縁の下の力持ち」的存在である部品・部材を対象とした表彰制度です。

「ギヤグランドDXシリーズ」は、当社従来品比平均 3.0%以上^{※2}の燃費向上とギヤの耐久性維持の両立を実現した業界初のギヤ油です。エンジン油の燃費向上は、主に粘度を下げることで達成していました。一方、ギヤ油においては、ギヤやベアリング等の摩擦損失が増大することで耐久性を損なうため、低粘度化による燃費向上が図れず、商品化が困難とされてきました。「ギヤグランドDXシリーズ」は、当社の独自技術により、従来品の粘度を維持しつつギヤ間の潤滑性を向上することに成功し、大型トラック・バスの燃費向上を可能にした商品です。特に運送業界における環境志向へのニーズの高まりにお応えします。

「KALEIDO SCREEN®」は、当社のナノテクノロジーを活用したスクリーン用透明フィルムです。透明度が70%程度の従来品に比べ、当社は、ほぼ無色透明であり、世界最高水準の透明度約90%を有しております。そのため、透明なガラスやアクリル板に貼り付けても、その透明性を損ないません。この特長を活かし、これまでに東京タワー、あべのハルカス、名古屋TV塔などにおいて、プロジェクションマッピング等の空間演出用途として採用されております。さらに、デジタルサイネージ^{※3}、自動車用ヘッドアップディスプレイ^{※4}等への用途拡大を目指しております。

今後も当社は、行動指針に掲げる「地球環境との調和」、「信頼の商品・サービス」のもと、環境配慮型商品や高機能素材の開発・普及を推進することにより、社会の発展に貢献してまいります。

※1 持続可能なモノづくり社会の構築に向けて、全国から1,800社を超える企業が参加し設立された団体

※2 当社実車テスト結果

※3 ディスプレイやプロジェクターといった映像機器とコンテンツ配信システムとを組み合わせた広告・販促・インフォメーションツール。「電子看板」とも呼ばれる。公共交通機関の運行情報表示等として当初利用されていたが、近年では商業施設や一般店舗等へ利用分野が拡大している。

※4 自動車のフロントガラス等に計器類やナビゲーション情報を投影して、運転者の視野に情報を直接映し出す装置。情報確認のために運転者が視点を大きく動かす必要がなくなり、事故の可能性を低減させる安全技術として期待されている。

< “超”モノづくり部品大賞概要 >

主催 : モノづくり日本会議、日刊工業新聞社

後援 : 経済産業省、日本商工会議所

対象 : 機械、電気・電子、自動車、環境関連、健康・バイオ・医療機器、生活関連

贈賞式 : 2016年11月30日(水) 於)ヒルトン東京

(参考)当社受賞履歴

2011年度 大賞 「エコジュール」

2013年度 奨励賞 「ミライフ」

2014年度 機械部品賞 「NSクリーン」

2015年度 電気・電子部品賞 「ザイダー(カメラモジュール用)」

以上

● 別添資料

 「ギヤグランドDXシリーズ」商品紹介 (PDF:1.8 MB)

